

2025年度 熊本ゴルフ選手権

熊日トーナメント

Gシニア・Sシニア 決勝

競技の条件

1、ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則（2023年1月施行）と本競技の条件・ローカルルールを適用する。

2、競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、全ての事柄についての委員会の裁定は最終である。

3、競技の終了時点

本競技は、競技委員会の作成した順位表が発表された時点をもって終了したものとす。

4、プレーの中断と再開

- プレーの中断(落雷等の危険を伴わない気象状況)については、ゴルフ規則5.7に従って処置。
- 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間でいた場合は、各競技者は委員会よりプレーの再開の指示が出る迄プレー再開してはならない。1ホールのプレーの途中であった時は、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレーの再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかった時は、ゴルフ規則5-7bに決められているような罰を免除する正当な事情がなければその競技者は競技失格とする。
- プレーの中断と再開の合図について
通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。又は、本部より競技委員（代理可）を通じて、競技者に連絡する。
険悪な気象状況による即時中断：短いサイレンを繰り返し鳴らして通報する。
プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。

ローカルルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。
- レッドペナルティエリアは赤杭又は赤線を持ってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 樹木保護の為の巻物施設（巻網等）は、コースと不可分の部分とする。
- 池に球が入った時の処置として事実が分かっているか、ほぼ確実な場合、確認が無くても池に入ったと見なす。
同伴者立会いの上、最後に横切ったと思われる地点を決定し、ルールに従って処理すること。
- 使用球の規格 セクション8 ローカルルールひな型G-1 適合ドライバーヘッドリストを適用。
- ホールとホールの間での練習禁止 セクション8 ローカルルールひな型 I-2を適用する。
但し、ハーフターンの待ち時間の練習は「指定練習グリーン」のみとする。
- 移動 競技者は、正規のラウンド中、カート乗車・運転する事ができる。

注意事項

- 競技の条件やローカルルールに追加、変更のある場合はインフォメーションボード又は、スターティングエリアに掲示して告示する。
- パッティンググリーン保護のため、メタルスパイクシューズ、およびタウン用シューズの使用を禁止する。
- 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人30球を限度とする。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けない様注意すること。
尚、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課す。
- スタート呼出しは、一切行わないのでスタート時間5分前までには、スターティングエリアに待機すること。
- コース内では携帯電話機・スマートフォンの使用を禁止する。
- タイスコアの場合は競技規定によって決定する。
- 競技に於いてのトラブルは速やかに届けること。競技終了時点以降の届けは重大な問題を除いては順位に変動はない。
- 距離測定器の使用は認められるが、風速、勾配など2点間の距離以外の機能は、使用できない。
- バンカー内のルースインペディメントは、取り除く事ができる。
 - ドロップは、ひざの高さから真下にする。
 - 地面にくい込んだ球の救済は、ジェネラルエリア全域で認められる。
 - 球を捜し始めて3分以内に見つける事ができなかつたら、紛失球となる。
 - 救済を受ける場合、球の取り替えは常に行える。

競技委員長 那須 敬彰